

逗子市療育推進事業検討会 名簿

2018年（平成30年）3月23日

	所 属	氏名
1	公募市民	友野 京子
2		加藤 暁子
3		山本 啓一
4	逗子市手をつなぐ育成会	中野 由美子
5	逗子市自立支援会議	菊池 一美
6	逗葉私立幼稚園協会	森 荘一
7	逗子市保育施設連絡協議会	横地 みどり
8	神奈川県鎌倉三浦地域児童相談所	大澤 弘美
9	神奈川県鎌倉保健福祉事務所	猿田 貴美子
10	逗子市福祉部障がい福祉課	新倉 良枝
11	逗子市教育部学校教育課	川名 裕
12	逗子市教育部子育て支援課	中村 妙子
13	アドバイザー 横浜市総合リハビリテーションセンター	小川 淳

○逗子市療育推進事業検討会運営要綱

平成23年4月1日

要綱

改正 平成29年4月1日

逗子市療育推進事業検討委員会の設置及び運営に関する要綱（平成22年4月1日施行）の全部を改正する。

（趣旨）

第1条 この要綱は、発達に心配のあるすべての児童の早期発見、早期支援を行い、その能力や適性に応じた適切な支援を個人のライフステージに合わせ継続的に行う療育推進事業について、広く市民、関係者等の意見を聴取することを目的に逗子市療育推進事業検討会（以下「検討会」という。）を開催し、その運営について必要な事項を定めるものとする。

（メンバー）

第2条 検討会のメンバーは、次に掲げる者とする。

- （1） 公募による市民
- （2） 逗子市自立支援会議のメンバー
- （3） 当事者団体の推薦を受けた者
- （4） 関係行政機関の職員
- （5） その他市長が必要があると認めた者

2 検討会への参集の求めは市長が行い、同一の者に対して継続して求めるものとする。

（アドバイザー）

第3条 市長は、検討会の開催に当たり、療育推進事業について知識経験又は実務経験を有するアドバイザーを置くことができる。

（協力の要請）

第4条 市長は、特に必要があると認めるときは、メンバー及びアドバイザー以外の者に対し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

（庶務）

第5条 検討会の庶務は、療育教育総合センターにおいて処理する。

（平成29年4月1日・一部改正）

（委任）

第6条 この要綱に定めるもののほか、検討会の運営について必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成29年4月1日）

この要綱は、平成29年4月1日から施行する。

逗子市こども発達支援センター



ひなた・くろーばー

相談部門による事業報告

- こども発達支援センターの概要
- 平成29年度の実績（統計資料をもとに）
- 公開講座について
- ひなたファイルについて
- 次年度に向けて

こども発達支援センターひなたの概要

施設概要	
所在地	逗子市桜山5丁目20番29号 療育教育総合センター内
対象エリア	逗子市
利用対象	0歳～18歳までの障がいのある子どもや発達に心配があり支援を必要としている子ども及びその家族

施設の内容（療育教育総合センター）	
3階	教育研究相談センター：相談室、適応指導教室、研修室、事務室ほか
2階	くろーばー：相談室（2室）、プレイルーム（3室）、こどもトイレ、事務室ほか
1階	ひなた：相談室（4+2室）、待合室、PT・OT室、聴覚検査室、プレイルーム（2室）、事務室、会議室 ほか

職員配置 (○内数字は人数)

相談部門 (ひなた)

○市直営

- 療育相談員②
 - 学齢期相談担当①
 - 心理士③
 - 言語聴覚士③
 - 理学療法士②
 - 作業療法士③
 - 保健師①
 - 保育士②
 - 嘱託医④
- (児童精神科医、リハ科医)
- 事務職員④

療育部門 (くろーばー)

○県央福祉会に業務委託

- 管理者①
- 児童発達支援管理責任者①
- 保育士または指導員⑪
- 看護師①
- 事務員①

センターにおける支援

～生活能力の向上を図り、こどもの可能性を広げる。～

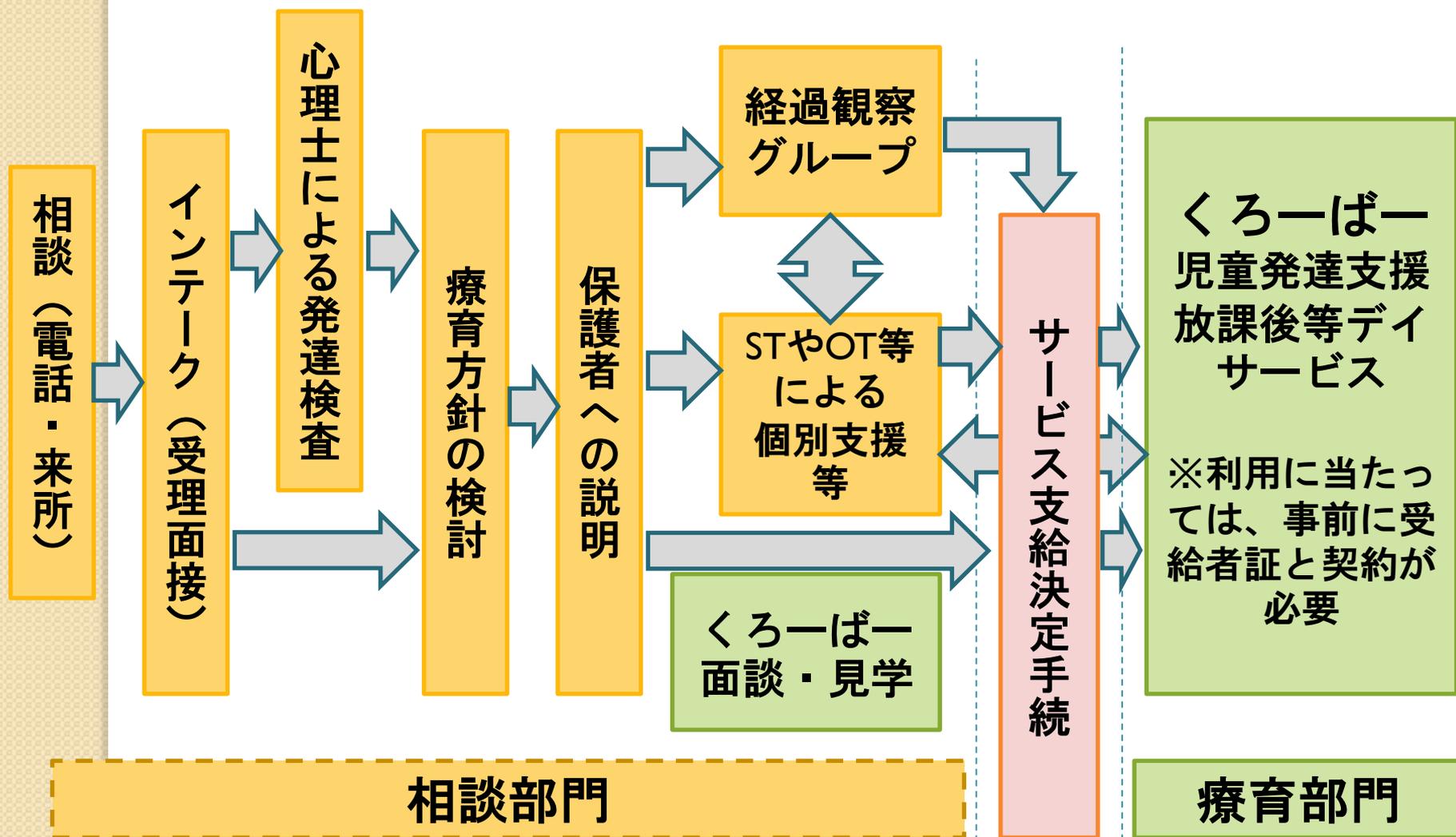
相談部門（ひなた：市直営）～主に1階

- ・療育に関する相談（来所、電話、巡回相談）
- ・アセスメント、評価、説明（各種検査、経過観察グループ）
- ・個別支援（必要に応じた専門職による指導）
- ・勉強会、会議、コンサル等を通じた家族支援・関係機関との連携（くろーばー、教育研究相談センター、小・中学校、特別支援学校、幼稚園・保育所、障がい福祉課、子育て支援課、児童相談所、相談支援事業所、児童発達支援事業所、放課後児童クラブ等）

療育部門（くろーばー：県央福祉会に業務委託）～主に2階

日常生活における基本動作の獲得や生活能力の向上のために、障がいや特性に配慮した個別支援計画を作成し、家族と協働しながら、児童発達支援や放課後等デイサービスなど障害児通所支援を中心とした専門的な療育（発達支援、家族支援、機関連携など）の支援を行う。

相談から利用までの主な流れ



平成29年度利用児童数

(平成30年2月28日現在)

- **新規利用児童数**

	26年度	27年度	28年度	29年度
未就学	49	44	69	62
学齡	—	—	42	28
合計	49	44	111	90

- **継続利用児童数 (新規も合わせて)**

	26年度	27年度	28年度	29年度
未就学	105	109	145	203
学齡	5	3	45	97
合計	110	112	190	300

年齢別実人数

(平成30年2月28日現在)

年齢	実人数	年齢	実人数
0歳	4	10歳	8
1歳	4	11歳	7
2歳	38	12歳	2
3歳	44	13歳	6
4歳	53	14歳	1
5歳	60	15歳	4
6歳	27	16歳	1
7歳	15	17歳	0
8歳	11	18歳	0
9歳	15	合計	300

職種別相談件数

(平成30年2月28日現在)

	相談員	心理士	言語 聴覚士	理学 療法士	作業 療法士	保育士	保健師	合計
0歳	28	0	0	21	0	0	2	51
1歳	86	22	5	60	0	30	20	223
2歳	455	191	27	79	11	308	160	1231
年少	226	112	73	80	17	82	37	627
年中	358	171	96	6	22	140	73	866
年長	428	180	362	2	38	50	31	1091
小・低学年	167	62	81	4	10	2	1	327
小・中学年	122	40	72	1	5	6	4	250
小・高学年	56	21	23	16	14	0	1	131
中学生	42	24	26	1	0	1	1	95
義務教育終了後	23	4	4	23	2	0	1	54
計	1997	827	766	293	119	619	331	4946

巡回相談件数

(H29は平成30年2月28日現在)

		支援を行った人数		相談につながった人数		支援者支援を行った人数		巡回回数	
		H28	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29
1	湘南保育園	11	22	4	1	7	21	0	3
2	沼間愛児園	11	21	2	0	9	21	3	3
3	なないろ保育園	7	16	1	0	6	16	3	3
4	小坪保育園	8	25	0	3	8	22	3	3
5	双葉保育園	22	19	4	1	18	19	3	3
6	桜山保育園	9	5	4	0	5	5	3	1
7	湘南アイルド逗子保育園	0	3	0	0	0	3	0	1
8	ごかんのいえ	1	0	0	0	1	0	1	0
9	ごかんのもり	0	0	0	0	0	0	0	1
10	あにえるち保育園	0	0	0	0	0	0	0	0
11	聖和幼稚園	4	0	0	0	0	0	1	0
12	かぐのみ幼稚園	8	24	0	0	8	24	3	2
13	マリア幼稚園	4	0	0	0	0	0	1	0
14	逗子幼稚園	6	5	1	2	3	3	1	1
15	第二逗子幼稚園	3	1	1	1	0	0	1	1
	合計	94	105	17	7	77	98	23	22

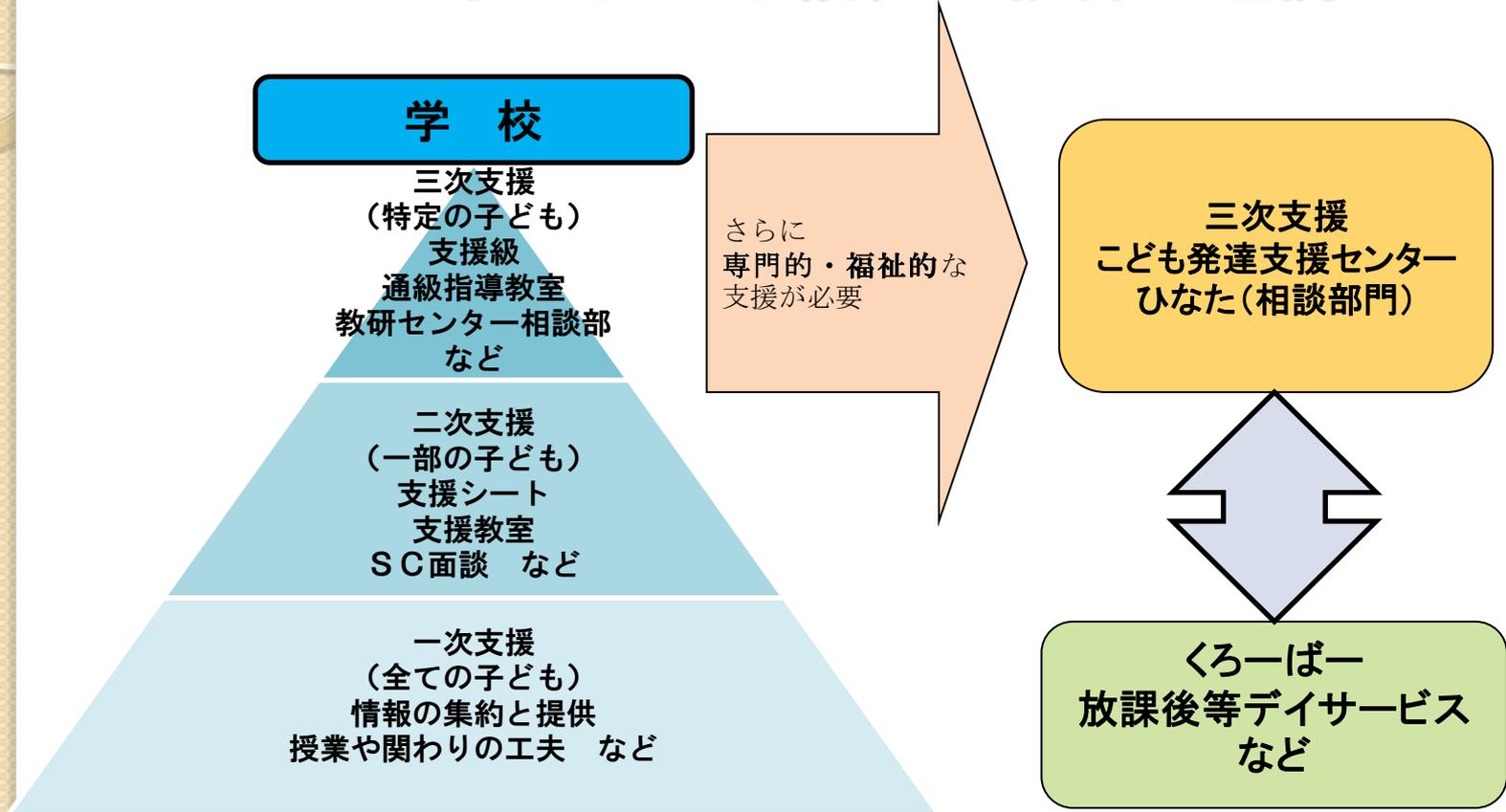
子育て支援課からの健診ケース

平成30年2月28日現在

	4カ月健診	1歳6か月	3歳健診
4月	0	1	0
5月	0	0	0
6月	1	0	0
7月	0	2	0
8月	0	0	0
9月	0	5	0
10月	0	2	0
11月	1	3	0
12月	6	1	0
1月	0	3	0
2月	0	0	0
3月			
合計	8	17	0

学齢期における支援の流れ

～逗子における福祉と教育の連携～



学校との連携

1 支援シート会議出席及びコンサルテーションの件数

支援シート会議	3件	小坪小学校 2件 池子小学校 1件
コンサルテーション	8件	逗子小学校 4件 沼間小学校 2件 小坪小学校 1件 鎌倉養護学校 1件

2 引継ぎ会議及びケース会議の出席回数

学校名	引継ぎ	ケース会議	備考
逗子小学校	1回	3回	
沼間小学校	1回	3回	
久木小学校	1回	2回	
小坪小学校	1回	0回	
池子小学校	1回	0回	
通級指導教室（しおさい）	2回	0回	
通級指導教室（やまびこ）	2回	0回	
逗子中学校	0回	2回	
久木中学校	0回	0回	
沼間中学校	0回	0回	
武山養護学校	0回	2回	
鎌倉養護学校	0回	1回	

障害種別実人数

(平成30年2月28日現在)

	身体障害手帳所持		療育手帳所持		手帳未所持	
	未就学児	学齢児	未就学児	学齢児	未就学児	学齢児
身体障害及びその可能性	5	3	5	0	2	0
知的障害及びその可能性	0	0	8	22	37	3
言語障害及びその可能性	0	0	0	0	7	5
発達障害及びその可能性	0	0	0	2	110	46
その他	0	0	0	0	19	13
合計	5	3	13	24	175	67

公開講座の開催

- ・ 日 時：平成29年5月30日（火）9:30～11:30
- ・ 参加者：71名
- ・ テーマ：地域でつくる子どもの笑顔
～発達障がいのこと、知っていますか～
- ・ 講 師：藤田 純一 氏

（横浜市立大学付属病院児童精神科診療部長補佐、児童精神科外来医長）

無料
先着
50人

平成29年度こども発達支援センター公開講座

地域でつくる 子どもの笑顔

発達障がいのこと、知っていますか

落ちこみがない、ことばが出にくい、友達と遊べない。そんな身近にいませんか？ その子ももしかしたら、居っている子かもしれません。

子どもの発達障がいについて、経験豊富な医師がわかりやすく解説。あなたの理解が子どもに笑顔をもたらします。

時 5月30日(火)
9:30～11:30

場 こども発達支援センター

定 先着50人

講師 藤田純一さん



横浜市立大学附属病院児童精神科診療部長補佐・児童精神科外来医長

子どもと家族の立場に立った分かりやすい疑問に定着があります。

申し込みは、裏面の参加申込書に記入し、FAX又はメールでこども発達支援センターへ。

参加申込書は裏面です

講演内容及び当日の様子

○児童精神科医師の立場から（別紙当日資料抜粋参照）

- 発達障がいや子どもの発達について、
 - 児童精神科の役割
 - 将来に向けて身に付けたい力
 - 家族はとのかかわり
 - 家族を支える支援ポイント
- など



参加者からのご意見・ご感想 1

アンケートから（回収63名）

○ 今回の講座について

- | | | |
|-----------------|-----|-----|
| ①非常に有意義だった | ・・・ | 31名 |
| ②有意義だった | ・・・ | 26名 |
| ③ふつう（どちらともいえない） | ・・・ | 1名 |
| ④あまり意義を感じなかった | ・・・ | 0名 |
| ⑤無回答 | ・・・ | 5名 |



参加者からのご意見・ご感想 2

- ・改めて気づかされた「大人の困り感と子どもの困り感は違う」というのは本当だなと思った。「感情的に言わない」は大人も余裕がないとできないので、大人の支援も充実できたら救われる。(保護者)
- ・保護者、支援者、本人それぞれの立場での困っている点の比較は面白いと思った。問題な点を強みとして言い換えていく視点の展開は職員全員で取り組んでいきたい。(支援者)
- ・個性と考え、皆同じだと思うことは大事だと思った。つい大人の都合で「困っている子、困った子」と見ていたが、当事者が何を困っているかを探ってあげたいと思った。これが、こうだから発達障がいではないのだと知ることができた。(保護者)
- ・個性なのか障がいなのかの見分けは難しいが、支援者の見方、捉え方で随分違ってくると思った。(支援者)
- ・子どもと接するうえでの心構え、べからず集は発達障がいのお子さんを持つ家族にも伝えていきたいと感じた。(支援者)

参加者アンケートから抜粋

ひなたファイル 家族支援・機関連携



ひなたファイル勉強会の実施

- ・ 日 時：平成30年2月5日（月）10:00～12:00
- ・ 参加者：10名
- ・ 内 容：第1部 先輩保護者の話
第2部 グループワーク

～先輩保護者の話から～

- ・ 子どもの特性をまとめておくことは大切。就学相談の際にも必要となる。
- ・ 連絡帳に書かれたことで子どもを知り、それを記録として残すことができた。
- ・ 医療機関からの資料や検査結果の報告書などいろいろな資料をまとめるのに活用している。

ひなたファイル勉強会の様子



次年度に向けて

- 園・学校との連携
- ひなたファイル活用に向けた啓発
- 自助グループとの連携及び支援
- 18歳以降の支援を見据えたセンターの役割や関係機関との連携

平成27年度

月	相談員	心理	言語聴覚	理学療法	計
0歳	8	0	0	59	67
1歳	41	5	3	85	134
2歳	282	211	27	53	573
年少	493	353	58	14	918
年中	541	167	88	72	868
年長	732	408	384	15	1,539
小学生(低学年)	20	10	41	0	71
小学生(中学年)	0	0	3	44	47
小学生(高学年)	0	0	0	6	6
中学生	0	0	0	25	25
義務教育終了後	0	0	0	0	0
計	2,117	1,154	604	373	4,248

平成28年度

月	相談員	心理	言語聴覚	理学療法	作業療法	保育士	保健師	合計
0歳	14	2	0	11	0	1	1	29
1歳	73	11	1	71	1	18	14	189
2歳	254	170	6	150	5	255	123	963
年少	379	174	69	64	14	162	93	955
年中	458	176	137	3	27	27	62	890
年長	564	170	419	68	29	14	39	1303
小学生(低学年)	315	154	86	3	12	7	21	598
小学生(中学年)	166	61	14	30	21	0	2	294
小学生(高学年)	57	33	7	1	5	1	2	106
中学生	47	20	10	16	2	0	3	98
義務教育終了後	1	0	0	14	0	1	0	16
計	2328	971	749	431	116	486	360	5441

平成29年度(平成30年2月28日現在)

月	相談員	心理	言語聴覚	理学療法	作業療法	保育士	保健師	合計
0歳	28	0	0	21	0	0	2	51
1歳	86	22	5	60	0	30	20	223
2歳	455	191	27	79	11	308	160	1231
年少	226	112	73	80	17	82	37	627
年中	358	171	96	6	22	140	73	866
年長	428	180	362	2	38	50	31	1091
小学生(低学年)	167	62	81	4	10	2	1	327
小学生(中学年)	122	40	72	1	5	6	4	250
小学生(高学年)	56	21	23	16	14	0	1	131
中学生	42	24	26	1	0	1	1	95
義務教育終了後	23	4	1	23	2	0	1	54
計	1991	827	766	293	119	619	331	4946

逗子市こども発達支援センター くろーばー



社会福祉法人県央福祉会



逗子市こども発達支援センター くろーばー



・児童発達支援事業

- 〈通園〉 年長児・年中児 2クラス（にじ組・おひさま組）
2歳児・3歳児クラス 親子登園（ほし組）
- 〈グループ〉 年長児 4グループ（平成29年度）
年中児・年少児 3グループ（平成29年度）

・放課後等デイサービス事業 7グループ（平成29年度）

- 小学1年生（2グループ）、小学2・4年生
小学4・5・6年生、小学生男子、小学5年生、中学生・高校生



通園療育

(児童発達支援事業)



- 対象：主に2歳児から5歳児までのお子さん
4・5歳児：単独通園 2・3歳児：親子通園
- 週1回～週4回 決まった曜日に登園
- 時間は、10：00から13：00
- お子さんと家族の状況に合わせた「個別活動」の実施
療育中は、年齢やお子さんの状態によっては親子分離
ご家族との定期的な話し合いを行う
- 個別支援計画にもとづく支援



登園時の設定
(通園・ほし組)



スケジュール提示
(通園・ほし組)

◆ 相談療育グループ ◆ (児童発達支援事業)

- 対象：主に3歳児～5歳児
幼稚園・保育園に通うお子さん中心
コミュニケーション支援 小集団での経験
- 原則 月2回程度
- 時間は、15：00から16：30
- 個別支援計画にもとづく支援

◆ 放課後等デイサービス ◆ (放課後等デイサービス事業)



- 対象：小学1年生から18歳までの児童

現在は、主に市内の小学校特別支援学級在籍児、または
通級指導教室の利用児、または、市外の支援学校の生徒が利用。

- 原則 月2回程度
- 時間は、下校時刻により調整し、開始より90分で活動を実施。
- 活動後に報告を行い、お子さんの様子を共有するなど、
ご家族との定期的な話し合いを行う
- 個別支援計画にもとづく支援



活動時の設定
(放課後等
デイサービス)

◆ 利用状況 ◆

- ▶ 1. 児童発達支援事業全体
- ▶ 2. 通園療育
- ▶ 3. 療育相談グループ
- ▶ 4. 巡回相談
- ▶ 5. 放課後等デイサービス

※ 詳しくは、配布資料をご参照ください。



◆ 平成29年度 重点課題テーマについて ◆

- ▶ 1. 放課後等デイサービス事業の解説と展開
 - 逗子市の療育相談を入口とする
 - 学校での支援と療育の必要性
 - プログラムを行う中で目指すもの
 - 保護者
 - ひなた・教育研究相談センター・学校との連携
支援会議・支援シートなど
- ▶ 2. 質の高い発達支援サービスの提供
 - 療育プログラムを高める
 - 利用者満足度アンケート 第三者評価



◆ 報告 ◆

- ▶ 2. 活動報告（年間の流れ）
- ▶ 3. 行事報告
- ▶ 4. くろーばー主催研修会 報告
- ▶ 5. 防災訓練 報告
- ▶ 6. そのほか

※ 詳しくは、配布資料をご参照ください。



◆ 年間の流れ ◆

4月	5月	6月
新年度説明会（通園） 個別面談 放課後等テイスサービス説明会	就学相談説明会 避難訓練 遠足（油壺マリンパーク）	家族懇談会（通園）
7月	8月	9月
避難訓練 支援者向け研修（受託事業） ビデオ参観（通園）	ビデオ参観（通園）	法人総合防災訓練 おたのしみ会 個別面談 父親向け勉強会（ばば☆ワークス） ムーブメント（放デイ合同行事）
10月	11月	12月
年長児向けOB・OG会（通園） ムーブメント・父親懇親会（通園） ムーブメント（放デイ合同行事）	市民向け研修（受託事業） 母親懇親会・パン教室（通園）	クリスマス会
1月	※ 詳しくは、配布資料をご参照ください。	
新一年生向け説明会（放デイ）		



◆ くろーばー主催 研修会 ◆ 逗子市 受託事業

- ▶ 支援者向け 平成29年7月14日
 - ・「気になる子へのアプローチ」
 - ・講師：千谷 史子（NPO法人 ワンダートンネル）
- ▶ 市民向け 平成29年11月12日
 - ・「発達障害を知っていますか」
 - ・講師：諏訪 利明（川崎医療福祉大学）
- ▶ 保護者向け 平成30年2月26日
 - ・「幼児期からの就労支援」
 - ・講師：柳川 圭介（やまと発達支援センターWANTS）



◆ 平成30年度に向けての展望 ◆

- ▶ 1. 質の高い発達支援サービスの提供
 - ・平成29年度に行ったサービス評価をもとに、本人やご家族の視点に立った支援に取り組む。
 - ・療育環境の整備を進め、職員間で通常時・緊急時の対応を確認、徹底していく。
 - ・質の高いサービスを提供できる職員の育成を行う。



◆ 平成30年度に向けての展望 ◆

▶ 2. 職場環境を快適に保ち、 職員のモチベーション低下を防止

- 管理者・現場職員との相互の報連相を大事にし、ガバナンスの再構築を行う。
また、園長・課長との個別面談を実施し、クラスごとの課題や職員間の問題等を洗い出し、解決に努める。
- 平成29年度よりも職員の残業時間が20%削減できるよう事業所内業務配分の見直しや職員各々の仕事を自己コントロールできるようサポートしていく。



◆ 平成30年度に向けての展望 ◆

▶ 3. 関連機関との連携、信頼関係の構築

- 逗子市との委託業務に関する内容を滞りなく、計画・実施・報告をしながら協力関係を強化していく。
- 巡回については、事前に目的やねらいを明確にし、共通認識をした中で行う。
また、巡回時もコミュニケーションを大事に、双方にとって有益な取り組みになるよう努めていく。



逗子市こども発達支援センターくろーばー
平成29年度の事業について(平成29年4月～平成30年1月)
(児童発達支援・放課後等デイサービス)

児童発達支援事業

1. 児童発達支援事業全体の利用者数(のべ人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	16	20	22	20	14	20	21	20	20	18	19		210
定員	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		15
利用のべ数	94	138	152	138	89	113	152	157	141	117	120		1,411
1日あたりの参加人数	5.9	6.9	6.9	6.9	6.4	5.7	7.2	7.9	7.1	6.5	6.3		7
利用率(人数/15)	39.2%	46.0%	46.1%	46.0%	42.4%	37.7%	48.3%	52.3%	47.0%	43.3%	42.1%		44.8%

2. 利用者の学年及び性別状況(通園療育) 1月末

年齢	男性	女性	合計	構成比(%)
1歳児	0	0	0	0.0 %
2歳児	6	2	8	23.5 %
3歳児	5	2	7	20.6 %
4歳児	10	1	11	32.4 %
5歳児	7	1	8	23.5 %
合計	28	6	34	100.0 %

3. 利用者の学年及び性別状況(相談G療育) 1月末

年齢	男性	女性	合計	構成比(%)
3歳児	2	0	2	5.7 %
4歳児	6	3	9	25.7 %
5歳児	21	3	24	68.6 %
合計	29	6	35	100.0 %

4. 巡回相談

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	0	1	3	3	1	3	1	1	0	0			13

訪問先	幼	聖マリア(逗子)・明照(葉山)・第二逗子(逗子)・あけの星(葉山) 材木座(鎌倉)・御国(横須賀)
	保	桜山(逗子)・なないろ(逗子)・湘南(逗子)・湘南アイルド(逗子) 双葉(逗子)

放課後等デイサービス

1. 放課後デイの利用者数(のべ人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	0	20	22	20	17	20	20	20	20	18	19		196
定員	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5
利用のべ数	0	23	30	30	27	36	45	37	41	24	40		333
1日あたりの参加人数	0.0	1.2	1.4	1.5	1.6	1.8	2.3	1.9	2.1	1.3	2.1		2
利用率(人数/5)	0.0%	23.0%	27.3%	30.0%	31.8%	36.0%	45.0%	37.0%	41.0%	26.7%	42.1%		30.9%

2. 利用者の年齢及び性別状況(放課後デイ) 1月末

年齢	男性	女性	計	構成比(%)
1年生	4	3	7	29.2 %
2年生	1	2	3	12.5 %
3年生	2	0	2	8.3 %
4年生	3	4	7	29.2 %
5年生	2	1	3	12.5 %
6年生	0	1	1	4.2 %
中学・高校	1	0	1	4.2 %
合計	13	11	24	100.0 %

共通項目

1. 重点課題テーマ および 報告

事業所開設2年目にあたり、大きなテーマとしては「家族との信頼関係の構築と定着」と考えており、以下の点を重点課題とし、信頼関係の構築に努めてまいりました。

①放課後等デイサービス事業の開設と展開

今年度より放課後等デイサービスを開始しました。受給者証の発行や、契約の手続きなどを考慮し、5月からのサービス開始となりました。他の事業所の利用と違い、逗子市の療育相談を入口とし、利用希望児の状態や学校での様子を考慮し、サービス利用の必要性の検討を行っています。学校での支援に加え、より療育の必要性があると判断を受けた方を対象としています。開始当初は、17名の在籍でしたが、現在は7名増え、24名が在籍しています。活動については、子どもたちの興味関心を活かしプログラムを用意し、視覚的な情報を使いながら、「わかった」「やりたい」「できた」となるように、様々な工夫をし、サービス提供を行っています。また、毎回の活動時、保護者に対して活動報告を行い、支援内容の説明と利用児の様子を伝えています。加えて、半期ごとに個別面談を実施し、目標や支援内容の見直しを実施しています。療育教育総合センター全体での連携として、随時こども発達支援センターひなたと教育研究相談センターとの情報共有を行っています。まだ数名ですが、学校からの依頼を受け、支援シート作成、更新を目的に学校との協働した支援会議を実施しています。

②質の高い発達支援サービスの提供

常勤・非常勤職員に対し、外部研修サポート制度(費用面等)を提供して、自分が受けた研修を探し、選び、参加しています。上半期では、職員14名中12名の職員が制度を使い、研修に参加しました。研修参加後は、資料の回覧、研修報告をしてもらい、他の職員と情報共有をして、療育プログラムに活用されています。

また、利用者満足度アンケートを昨年度通園・相談グループの利用児家族全員を対象に実施しました。さらに、第三者評価も今年度は実施しました。第三者の視点からの客観的な評価を得ることで、これまで取り組んできた内容についての評価・反省を踏まえて、今後に生かしていきたいと考えています。

2. 活動報告

4月	5月	6月
3日(月) 新年度説明会(通園) 4日(火)～7日(金) 個別面談 10日(月) 前期開始(通園) 12日(水) 放課後等デイサービス説明会 17日(月) 前期開始(相談G)	10日(水) 就学相談説明会 22日(月) 避難訓練 26日(金) 遠足(油壺マリンパーク)	28日(水) 通園家族懇談会(ほし) 29日(木) 通園家族懇談会(にし・おひさま)
7月	8月	9月
11日(火) 避難訓練 14日(金) 支援者向け研修 24日(月)～27日(木) ビデオ参観(通園)①	4日(金)～10(木) ビデオ参観(通園)②	1日(金) 法人総合防災訓練 5日(火) お楽しみ会① 7日(木) お楽しみ会② 9日(金) 父親向け勉強会① 15日(金) 前期終了(通園) 19日(火)～22日(金) 個別面談 25日(月) 後期開始(通園) 28日(木) ムーブメント(放デイ)①
10月	11月	12月
4日(土) 年長児向けOB・OG会(通園) 28日(土) ムーブメント・父親懇親会(通園) 31日(火) ムーブメント(放デイ)②	12日(日) 市民向け研修 22日(水) 母親懇親会・パン教室(通園)	25日(月) クリスマス会(通園)
1月	2月	3月
29日(月) 放デイ新年生向け説明会		

3. 行事報告

日時	行事	参加組数
4月3日(月)	新年度説明会	16名
5月10日(水)	就学相談説明会	14名
5月26日(金)	遠足	10組
6月28日(水)	家族懇談会(ほし)	子4親5
6月29日(木)	家族懇談会(おひさま・にじ)	子3親12
7月24日(月)~27日(木)	ビデオ参観①	8名
8月4日(金)~10日(木)	ビデオ参観②	8名
9月5日(火)	お楽しみ会①	8組
9月7日(木)	お楽しみ会②	8組
9月28日(土)	ムーブメント(放デイ)	5名
10月4日(水)	年長児向けOB・OG会	5名
10月28日(土)	ムーブメント(通園)	16組
10月31日(火)	ムーブメント(放デイ)	7名
11月22日(水)	母親懇親会・パン教室	子8親12
12月25日(月)	クリスマス会	18組
1月29日(月)	放デイ新一年生向け説明会	親4名
2月7日(水)	家族懇談会(ほし)	子6親8
2月8日(木)	家族懇談会(おひさま・にじ)	子0親6

4. くろーばー主催研修会報告

日時	テーマ	参加者数
7月14日	「気になる子へのアプローチ」講師:千谷史子	40名(スタッフ、講師を除く)
11月12日	「発達障害を知っていますか?」講師:諏訪利明	48名(スタッフ、講師を除く)
2月26日	「幼児期からの就労支援」講師:柳川圭介	22名(スタッフ、講師を除く)

5. 防災訓練報告

5月22日(月)避難訓練(火災想定)	子ども5名	保護者0名	職員12名	参加
7月11日(火)避難訓練(地震想定)	子ども2名	保護者0名	職員13名	参加
9月1日(金)法人総合防災訓練(地震想定)	子ども4名	保護者2名	職員11名	参加
2月19日(月)避難訓練(地震後火災想定)	子ども9名	保護者0名	職員14名	参加

6. その他

- ①利用者満足度調査を実施しました。(実施月:6月 配布総数21通 回答10通 回収率47%)
 ②日本コンサルティングによる第三者評価を実施しました。(別紙参照)

平成30年度に向けての展望

平成30年度は、29年度実施の事業所評価を通して得られた客観的な評価と、利用者の方からの意見に基づいて、現状のサービスの安定的な継続とさらに充実した療育事業の展開を目指していきます。新しく取り組む事業及び30年度の重点項目は以下の3点です。

(1) 質の高い発達支援サービスの提供

・「第三者評価」や「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」の結果から、利用家族の思いや事業所としてのあり方(良い部分、足りない分など)について、職員全体で共有し、利用者本人や家族の視点に立った支援が行われるよう取り組んでいきます。

・子ども達が安心して支援が受けられるよう、療育室の環境整備につとめ、怪我や事故の防止を心がけます。また、職員ひとり一人の子ども達の安全に対する意識を高め、ヒヤリハットの徹底と分析を行います。

・「発達支援」の基本を理解し、お子さんの課題を考え解決できる職員の育成を心がけます。また職員は自己の研修テーマを定め、それを達成するための法人内外のさまざまな研修の機会を保障します。

(2) 職場環境を快適に保ち、職員のモチベーションの低下を防止。

・管理者・現場職員との相互の報連相を大事にし、ガバナンスの再構築を行います。

また、園長、課長との個別面談を実施し、クラスごとの課題や職員間の問題等を洗い出し、解決に努めます。

・29年度よりも職員の残業時間が20%削減できるよう事業所内業務配分の見直しや職員各々の仕事を自己コントロールできるようサポートしていきます。

(3) 関係機関との連携、信頼関係の構築

・逗子市との委託業務に関する内容を滞りなく計画・実施・報告をしながら協力関係を強化していきます。

・巡回先の保育園・幼稚園に対し、事前に巡回の目的やねらいを明確にし、共通認識をした中で、巡回を行います。巡回時も園の先生とのコミュニケーションを大事にしながら、双方にとっても有益な取り組みになるよう努めます。

「逗子市こども発達支援センター くろーばー」は、療育相談 ひなたとともに、発達に心配やつまずきのあるお子さんの療育活動を行っています。

くろーばーでは、幼児期から成人期に向けて、「**自立的で豊かな生活の広がり**」を目的に子どもたち一人ひとりの育ちを理解し、それに合わせて一貫した支援に、ご家族と協働しながら取り組んでいます。



『くろーばー』の名前には・・・

「子どもと家族」、「くろーばー職員」
「幼稚園・保育園・学校・その他 地域の関係機関」
「ひなた」が四つ葉のクローバーのように1つになり、逗子に根付くようにという願いがこめられています。

< 周辺地図 >



< 交通 >

JR東逗子駅 より 徒歩 10分

JR逗子駅 または、京急新逗子駅（北口）より
京急バス 逗子18 イトピア中央公園 行き

逗子19 グリーンヒル 行き

逗子20 田浦駅 行き

「逗子警察署前」下車

（駐車場 10台 分あり）

所在地

〒 249-0005

逗子市桜山 5-20-29

逗子市療育教育総合センター 2F

電話 046-876-5831

FAX 046-876-5832

E-mail zushi-clover@tomoni.or.jp

逗子市こども発達支援センター くろーばー



児童発達支援事業

（通園療育・グループ療育）

放課後等デイサービス事業



社会福祉法人 県央福祉会

○ 通園療育（児童発達支援事業）

毎週決まった登園曜日（週1～4日）、少人数のクラスで、さまざまな遊びや集団活動および個別活動を行います。

子どもたちの「楽しい」という気持ち、「おもしろい」という興味や関心、「やってみたい」という意欲を大切にし、ご家族や友だちと一緒にたくさんの経験を積み重ねていけるように支援します。

単独通園	10:00～13:00
5歳児：週1～4日	※ 9:30～10:00もしくは、 13:00～13:30に個別活動を実施
4歳児：週1～3日	
親子通園	3歳児 10:00～13:00
3歳児：週1～2日	2歳児 10:00～11:30
2歳児：週1日	

○ グループ療育（児童発達支援事業）

隔週（原則）1回1時間30分、少人数のグループで、さまざまな遊びや集団活動を行います。

主にコミュニケーションや集団で過ごすときのルールなどについて、楽しみながら経験を積み重ねられるように支援します。

年長グループ	14:30～16:00もしくは、
年中・少グループ	15:00～16:30

○ 放課後等デイサービス事業（くろーばーず）

隔週（原則）1回1時間30分、少人数のグループで放課後の時間に 余暇活動 を行います。

子どもたち自身が、「わかった（理解）」と感じ、「やりたい（興味・関心、意欲）」と思い、「できた」と実感できる経験を楽しみながら積み重ねられるように支援します。

- ・対象は、小学生から高校生（18歳）まで
- ・学年ごと、または複数の学年のグループで活動します。

活 動 時 間	15:00～16:30 もしくは、 15:30～17:00 もしくは、 16:00～17:30
---------	---

* 各グループに在籍しているお子さんの下校時刻に合わせて活動時間を設定しています。活動時間については、夏休み・冬休みなどの学校のお休みに関わらず、上記の時間となります。

○ 巡回相談

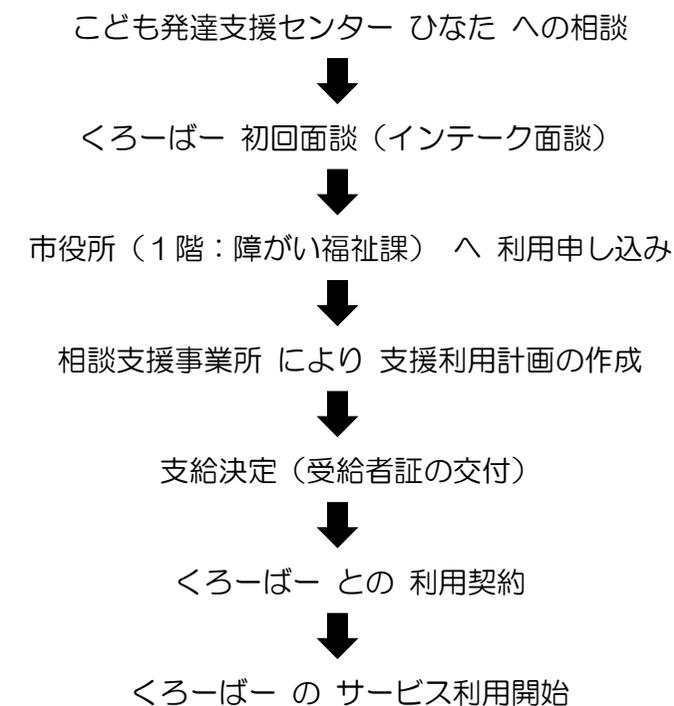
くろーばーに通所されているお子さんが在籍する幼稚園や保育園、学校などに、くろーばーの職員が訪問します。

在籍する園や学校とくろーばーが連携し、お子さんが安心して過ごせるように支援します。

< サービス利用の対象となる方 >

- ・発達につまりきのある18歳までの児童
- 利用を希望される方は、逗子市が交付する児童発達支援、または放課後等デイサービスの受給者証が必要になります。詳しくは、ご相談ください。

< ご利用までの流れ >



< 利用料金 >

- ・児童福祉法にもとづく給付費：1割負担
- ・材料費・調理費その他行事費など：実費